

平成30年度

第4回庄原市道徳教育推進委員会研修会

- 日時：平成31年1月22日（火） 14：00～16：40
- 場所：庄原市立庄原中学校 視聴覚室
- 対象者：庄原市内各小・中学校の道徳教育推進教師26名

目的

- ・「特別の教科 道徳」における主体的、対話的で深い学びについて理解を深め、今後の道徳教育の実践に生かす。
- ・道徳教育推進教師としての役割を理解するとともに、校内における道徳教育推進及び充実を図るための方策について研修する。

講話 「諸計画の作成・見直しについて」

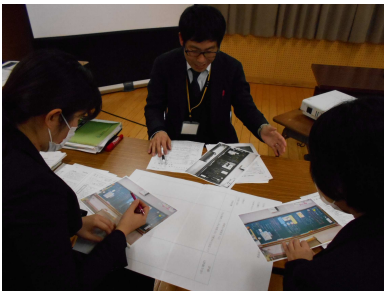
庄原市教育委員会 教育指導課 指導主事 赤木 一成



【講話の概要】

- 各校では、道徳教育全体計画、道徳教育全体計画における別葉、各学年の年間指導計画の見直し・作成が必要となる。
- 諸計画を作成する際には、道徳科と道徳教育の関係について理解しておく必要がある。そのため、「学習指導要領解説 総則編」と「学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」の2つの解説を基に諸計画を作成する必要がある。

交流・協議 「実践の交流」



【実践交流の概要】

- 教科書使用の利点を生かし、今年度は教材を指定して実践交流を行った。その後、学習指導案改善の視点を各グループで決め、その視点に基づき協議を行った。「道徳的価値について、いかに葛藤させるか、そのために、どんな切り返し発問が必要になるか。」「深めた道徳的価値を一般化するために何を提示すればよいか。」など、児童生徒が深い学びに向かうための工夫について議論した。

指導・講話 『特別の教科 道徳』における主体的、対話的で深い学びについて

広島県教育委員会 豊かな心育成課 指導主事 渡辺 剛
広島県北部教育事務所 教育指導課 指導主事 寺本 佳子



【指導・講話の概要】

- 「特別の教科 道徳」における「主体的な学び」とは、児童生徒が真剣に考えること、「対話的な学び」とは、児童生徒が共に語り合うこと、「深い学び」とは、児童生徒が生き方について考えを深めることである。そのような授業がどの学校でも、どの教室でも行われるためには、資料分析と実態把握が鍵となる。